

がんばろう能登

第1号

「僧伽・散華」会

能登を応援し、現地ボランティア活動を支援するため、自教区で活動する有志の会「僧伽・散華」会を支所（常葉会館旧大聖寺教務所）に立ち上げました。

僧伽は念佛申す仲間です。散華は枯れても仏種を抱き未来に繋いで行こうとする名です。



能登応援 「僧伽・散華」会 第1章 絵はがき

※①②③④の絵ハガキ5枚一組から選びください。
能登応援カンパとして500円以上をお願いします。

最初は「和田浩氏（真宗大谷派僧侶）からの年賀状、あの絵ハガキを使ってお世話になつた方々へお礼状を送りたい」と、震災で被災された能登教区の住職から相談され、絵はがきを再版する運びになりました。

「私も欲しい」の要望から、応援カンパを頂ける人たちにもお届けすることになりました。



5月1日に、ようやく能登か
らの避難者共々「震災お講」が
大聖寺支所で勤まりました。

焦らない、でもあきらめない
と、加藤宦氏（白山市白峰）か
ら、今後の能登支援活動への指
針を示すご法話がありました。



絵はがきは、教区内ではもう一つ関心を得られず、門徒勤行集しおり大と、聖典用や声明集用しおり小を作成しました。

絵しおり

第2章

勤行集用しおり大 2枚1組300円

5月1日『震災お講』

しおり小 5枚1組500円

お講の日に葉を披露し、参詣者の方々からご支援をいただきました。

裏は、諸先生方の法話を記してあります

ご門徒さんは
絵はがきを額に入
れ飾っています。
ご門徒さんは
絵はがきを額に入
れ飾っています。

能登の被災地から端布をい
ただき、それを聖典カバー、眼
鏡・筆記ケースに再生します。
その後は、皆様からご意見いた
だき新製品も作りたいです。

さいほう
**お裁縫浄土？
能登支援
を始めます**

まず私が使う
新真宗聖典カバ
ー製作教室開催。
大聖寺支所
9月4日(水)
夜7:00から

7月21日に、能登教区の方々が避難地の加賀・小松の温泉地より地元へ帰られました。逆縁として再会もし、新いい方々とも出会いました。

1つずつ・少しずつです

自教区・自坊・自宅からの支援ボランティア（作って・買って）の活動を始めます。

7月21日に、能登教区の方々が避難地の加賀・小松の温泉地より地元へ帰られました。逆縁として再会もし、新いい方々とも出会いました。

1つずつ・少しずつです

自教区・自坊・自宅からの支援ボランティア（作って・買って）の活動を始めます。

お講の御消息には、「仏種の
「僧伽・散華」会通信 第1号
お問い合わせ先：〒922-0117
石川県加賀市山中温泉上野町ル194
代表 二木利行 0761-78-1382

仏種が芽生えるよう
断えざるよう」とあります。

一つでも二つでも再生した仏種が、能登の地でも、この地でも繋がり、そして芽生えるように願うばかりです。

傾いた本堂柱、湾曲し穴が空いた床、庫裏も同様の有様でかかる言葉も失いました。柱、床板、端布、全ての物が廃棄物として処理されるものではなく、歴史を繋いできた仏法領の物です。一つでも二つでも仏種として再生しようと考え「僧伽・散華」会は活動します。



築いた寺院が、たつた一分間で倒れましたと…。

蓮如上人、紙切のおちて候いつるを、御覧せられ、「仏法領の物を、あだにするかや」と仰せられ、両の御手にて、御いただき候と（御一代記聞書）
2月に能登の被災地を訪ねたとき、ご住職がバケツと雑巾で雨水拭いていました。

「僧伽・散華」会通信 第1号
お問い合わせ先：〒922-0117
石川県加賀市山中温泉上野町ル194
代表 二木利行 0761-78-1382

皆様のご参加・ご協力よろしくお願いします。

眼鏡・筆記用具ケース
も使用できます。
仏種として買つ
ただけの商品

振込先：北陸労働金庫
店番号 453 口座名義 二木利行
普通預金 2519132

申し込みはがきは、教務所
支所にあります。

発注申し込みはがき ・絵はがき 1組 5枚 500円			
①	組	③	組
②	組	④	組
合計	組	円	
・しおり大	1組 2枚 300円		
・しおり大	組 円		
・しおり小	1組 5枚 500円		
・しおり小	組 円		
葉合計	円		
*聖典カバー大	枚 円		
*聖典カバー中	枚 円		
*眼鏡・筆ケース	個 円		
総合計	円		

新真宗聖典に
合わせます
外側に能登を
ギレの使用

大1700円・中
1500円の料金を
頂きます

内側合皮です